

地方創生関連事業の効果検証・外部評価

地方創生推進タイプ

事業①	オーガニック SHIBATA プロジェクト		計画期間	令和 4 年度～令和 8 年度
事業概要	新型コロナ感染拡大による外食需要の低迷等により、米、和牛の価格下落の課題がある中で、地域農産物等には国内・国外で優位性をとれるブランド力が求められている。そこで、安心・安全・健康などをキーワードとしたオーガニック米の生産体制の確立やオーガニック米を原料とした加工品などの製造、既存商品の改良、低糖質化などを行い、海外市場の要望に応えられる商材づくりを支援する。 また、新発田産米や新発田牛では海外の外食店をターゲットとしてプロモーションを展開し、販路を開拓するとともに、バイヤーを招聘した商談会、各店舗による物産展開催のほか、国内市場の販路拡大策としては、越後姫を含めイベント等での PR やふるさと納税返礼品での活用なども行う。			
実施概要 (実績)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	
	○オーガニック米産地形成（3,694 千円） ・オーガニック米栽培に向けた研修 ・オーガニック米実証ほの設置 等 ○加工品等製造、販路拡大（8,028 千円） ・オーガニック米を使用した加工品開発 ・「しばた大物産展」の開催 等 ○農産物等販路拡大（11,577 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・輸出及び販路拡大に向けたテストマーケティング 等	○オーガニック米産地形成（5,207 千円） ・地域おこし協力隊の登用 ・除草ロボットの研究 等 ○加工品等製造、販路拡大（9,426 千円） ・「しばた大物産展」の開催 ・既存商品の改良、低糖質商品の開発 等 ○農産物等販路拡大（15,586 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・販路拡大に向けたトップセールス 等		
	R7 年度	R8 年度		

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
有機 JAS 認証によるオーガニック米の生産面積	5ha	目	5ha	目	8ha	目	10.5ha	目	16ha	目	27ha
		実	5.5ha	実	9.5ha	実	—	実	—	実	—
オーガニック米の生産量	7 トン	目	7 トン	目	19.9 トン	目	25.9 トン	目	39.1 トン	目	65.5 トン
		実	21.5 トン	実	34.4 トン	実	—	実	—	実	—
新規加工品・特産品の数	0 アイテム	目	5 アイテム	目	15 アイテム	目	25 アイテム	目	33 アイテム	目	41 アイテム
		実	14 アイテム	実	28 アイテム	実	—	実	—	実	—
米、牛肉、加工品、イチゴの総輸出金額	40,000 千円	目	42,000 千円	目	48,000 千円	目	51,000 千円	目	76,000 千円	目	111,000 千円
		実	58,116 千円	実	62,259 千円	実	—	実	—	実	—

事業費	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額	26,000,000 円	32,000,000 円	32,000,000 円	21,333,000 円	21,333,000 円	132,666,000 円
実績額	23,298,999 円	30,219,155 円	円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	11,649,498 円	15,109,576 円	円	円	円	円
外部評価						
・地域おこし協力隊では、任期満了となる 3 年後の定住が課題となっており、有機米栽培や有機資源センターなどで、農業経験のない隊員を研修して就農に結びつけ、定住を図っている本プロジェクトを高く評価している。 ・除草ロボットが開発された際には、新たに有機米栽培を始める農家もいるかもしれないため、本プロジェクトに期待している。						

事業②	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」復元・公開を契機とした～新発田の歴史・文化・食～発信プロジェクト	計画期間	令和 5 年度～令和 9 年度
事業概要	当市出身である大倉喜八郎の別邸「蔵春閣」が移築・復元されることを契機に、①大倉喜八郎＆食文化の発信事業②動態保存による「蔵春閣」の積極的利活用事業③「蔵春閣」を核とした中心市街地活性化事業④大倉喜八郎スピリット～進一層～の伝承事業の 4 事業を柱として、シビックプライドの醸成、まちの賑わい創出を図る。		
実施概要 (実績)	R5 年度	R6 年度	R7 年度
	○喜八郎＆食文化の発信（7,474 千円） ・東公園内での「プレ雑煮合戦」開催 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等 ○動態保存による利活用（8,756 千円） ・開館記念式典・イベントの開催 ・開館に合わせた PR 経費 等 ○中心市街地活性化（9,252 千円） ・ラッピングトレインの運行 ・蔵春閣と月岡温泉を結ぶバスの運行 等 ○進一層の伝承（850 千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・大倉喜八郎に関する講演会開催 等		
	R8 年度	R9 年度	

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度		R9 年度	
蔵春閣の団体見学回数	0 回	目	5 回	目	13 回	目	21 回	目	30 回	目	40 回
		実	94 回	実	—	実	—	実	—	実	—
本事業に関連した官民連携、民間主導の事業実施数	0 件	目	10 件	目	17 件	目	24 件	目	32 件	目	40 件
		実	11 件	実	—	実	—	実	—	実	—
蔵春閣入込客数	0 人	目	12,000 人	目	16,500 人	目	21,000 人	目	26,000 人	目	29,000 人
		実	65,737 人	実	—	実	—	実	—	実	—
蔵春閣貸館件数	0 件	目	30 件	目	62 件	目	68 件	目	75 件	目	82 件
		実	75 件	実	—	実	—	実	—	実	—

事業費	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
計画額	31,594,000 円	31,400,000 円	33,395,000 円	33,000,000 円	33,000,000 円	162,389,000 円
実績額	26,331,669 円	円	円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	13,165,834 円	円	円	円	円	円

外部評価
・子どもたちも気軽に蔵春閣を利用できる企画をしてもらいたい。

事業③	人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」		計画期間	令和 5 年度～令和 9 年度
事業概要	市内企業で課題となっている、人手不足解消、労働の付加価値向上に向けて、企業の DX にかかる経費を補助することで、労働の効率化・省力化を図る。 市全体で DX の気運が高まることで、自ら DX に取り組む企業が増え、人手不足の解消、労働の付加価値向上が実現し、若い労働者が集まる労働環境を作っていく。			
実施概要 (実績)	R5 年度	R6 年度	R7 年度	
	・市内企業へのヒアリングを通じたニーズの把握 ・DX に係る経費の補助制度創出（6 件交付） ・市内事業者が無料で利用できる「DX あれこれ相談会」の実施			
	R8 年度	R9 年度		

重要業績評価指標 KPI（数値目標） 1	基準値	R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度		R9 年度	
「新潟県第 4 次産業革命分野・デジタルイノベーション創出連携支援計画 ² 」構成大学等 ³ の県内就職率	41.8%	目	42.83%	目	43.89%	目	44.95%	目	46.02%	目	47.09%
		実	42.82%	実	—	実	—	実	—	実	—
本事業による付加価値創出額 ⁴	0 億円	目	1.5 億円	目	4.5 億円	目	10 億円	目	17 億円	目	25.5 億円
		実	1.5 億円	実	—	実	—	実	—	実	—
サテライトオフィスの立地件数	53 件	目	73 件	目	96 件	目	119 件	目	143 件	目	168 件
		実	74 件	実	—	実	—	実	—	実	—
人材・企業・大学等が結集するエコシステム ⁵ の形成	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	達成
		実	未達成	実	—	実	—	実	—	実	—

事業費	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
計画額	2,500,000 円	3,250,000 円	3,200,000 円	3,150,000 円	3,100,000 円	15,200,000 円
実績額	2,033,000 円	円	円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	1,016,500 円	円	円	円	円	円
外部評価						
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。						

¹ 連携自治体（新潟県、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、阿賀町、湯沢町、津南町）全体の KPI

² AI 等の先端技術を活用した企業の生産性向上の実現と、地域資源など多様な知見と組み合わせて新たなビジネスモデルや製品・サービスを生み出す「デジタルイノベーションの創出」に向けて、新潟県が令和元年に作成。

³ 新潟大学、長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡造形大学、長岡工業高等専門学校

⁴ 地域の特性を活かし、経済効果が認められる事業を知事が承認するもの。
 なお、知事承認事業 1 件あたり 0.5 億円として算出

⁵ 複数の企業がパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、業界の枠を超えて発展していく仕組み。

地方創生整備推進型

事業①	持続可能な安心して暮らせる地域づくり計画					計画期間	令和 2 年度～令和 7 年度		
事業概要	人口減少に対応し、農村地域の水質保全を継続することで、良質な農作物の生産基盤を安定させるとともに、他の関連事業とも密に連携を図ることで、持続可能なまちづくりや担い手確保などの農業振興を目指すため、公共下水道及び農業集落排水施設の広域化・共同化を実施し、併せて農業集落排水施設の機能更新、監視システムの統一を図る。								
実施概要 (実績)			R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	合計
	公共接続 (4 地区)	計画	1,270m	3,220m	661m	420m	30m	0m	5,601m
		実績	2,038m	1,309m	1,381m	338m	—	—	5,066m
	農排強化 (2 地区)	計画	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	菅谷機能更新	—	—
		実績	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	—	—	—

重要業績評価指標 KPI(数値目標)	基準値	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
経営 20h a 以上の農地所有適格法人数	46 法人	46 法人	47 法人	48 法人	48 法人	60 法人	61 法人
		55 法人	55 法人	59 法人	60 法人	—	—
農業集落排水の維持管理費	75,666 千円	75,666 千円	75,666 千円	69,466 千円	66,366 千円	66,366 千円	60,566 千円
		75,666 千円	89,054 千円	76,852 千円	66,231 千円	—	—

事業費 ⁶	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
計画額	177,554,000 円	398,770,000 円	445,132,000 円	315,900,000 円
実績額	191,521,000 円	326,202,000 円	538,700,000 円	273,900,000 円
交付金充当額	88,777,000 円	199,385,000 円	222,566,000 円	157,950,000 円
事業費	R6 年度	R7 年度	合計	
計画額	318,000,000 円	335,539,000 円	1,990,895,000 円	
実績額	円	円	円	
交付金充当額	円	円	円	

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

⁶ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の 1/2 を上限交付される仕組みとなっている。

事業②	新発田市観光周遊ルートの形成による地域再生計画					計画期間	令和 4 年度～令和 8 年度					
事業概要	新発田 I.C を起点に主要観光地を結ぶ市道外ヶ輪公園大手門線及び林道新発田南部線を整備し、観光周遊ルートを形成することで観光客の交通利便性を高め、市全体の観光振興を図る。											
実施概要 (実績)		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度		
	市道外ヶ輪公園大手門線事業進捗率 (事業費ベース)	2.8%		44.2%								
	林道新発田南部線事業進捗率 (事業費ベース)	25.0%		50.0%								
重要業績評価指標 KPI (数値目標)		基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
市全体の観光客数の増加		2,652,861 人	目	2,673,200 人	目	2,680,000 人	目	2,687,500 人	目	2,695,000 人	目	2,702,500 人
			実	1,838,425 人	実	2,025,573 人	実	－	実	－	実	－
新発田城の入込客数の増加		47,992 人	目	48,375 人	目	48,500 人	目	48,625 人	目	48,750 人	目	48,875 人
			実	46,274 人	実	52,398 人	実	－	実	－	実	－

事業費 ¹	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額	14,000,000 円	305,000,000 円	7,000,000 円	70,000,000 円	30,000,000 円	426,000,000 円
実績額	16,400,000 円	173,245,000 円	円	円	円	円
交付金充当額	8,200,000 円	152,500,000 円	円	円	円	円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

¹ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の 1/2 を上限交付される仕組みとなっている。

地方創生拠点整備タイプ

事業①	道の駅加治川リニューアル整備計画	計画期間	令和 3 年度～令和 7 年度 (交付金活用事業は令和 3 年度のみ)								
事業概要	道の駅加治川の機能向上と施設運営体制の改革により、利用者の利便性を高め、ひとの流れの創出と消費拡大に資する観光拠点、さらには、農産物や特産品の販売拠点施設へと再生し、「交流人口の拡大による地域活性化」と「稼げる観光地づくり」を目指す										
重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度	
道の駅加治川入込客数	166,402 人	目	整備工事による 休館のため実績 なし	目	182,000 人	目	187,000 人	目	195,000 人	目	205,000 人
		実		実	297,685 人	実	208,052 人	実	－	実	－
道の駅加治川販売売上額	57,245 千円	目		目	85,000 千円	目	90,000 千円	目	95,000 人	目	100,000 千円
		実		実	170,628 千円	実	130,170 千円	実	－	実	－
農産物直売所の契約農家数	90 人	目		目	95 人	目	100 人	目	110 人	目	125 人
		実		実	55 人	実	64 人	実	－	実	－

※交付金活用事業に関する外部評価は「R4 年度検証結果（R3 地方創生関係事業）」を御参照願います。

事業②	天王小学校空き校舎リノベーション事業					計画期間	令和４年度～令和８年度 (交付金活用事業は令和４年度のみ)					
事業概要	当市では「製造業」に重点を置いた企業誘致を進めてきた一方で、IT 関連、研究開発など「先端産業」の誘致が遅れており、若年層の就職動向には「希望する職種がないために地元就職を諦める」一定の傾向が見られていることから、市立天王小学校の空き校舎において防火対策工事や空調設備等の増設を行い、「シェアオフィス１型施設」として運営し、IT 関連の先端企業の「企業誘致」を行う。また、誘致企業と市内企業とのマッチングを通じて多様な就労環境を創出し、将来的な若者の U・I ターンや地元定着を図る。											
重要業績評価指標 KPI (数値目標)		基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
入居企業数（累計）		0 社	目	3 社	目	5 社	目	6 社	目	7 社	目	8 社
			実	7 社	実	9 社	実	－	実	－	実	－
入居企業に勤める UJI ターン移住者数（累計）		0 人	目	3 人	目	6 人	目	8 人	目	10 人	目	12 人
			実	0 人	実	0 人	実	－	実	－	実	－
市内で開業した（開業することが決まっている）入居企業数（累計）		0 社	目	0 社	目	0 社	目	0 社	目	2 社	目	2 社
			実	0 社	実	0 社	実	－	実	－	実	－

※交付金活用事業に関する外部評価は「R 5 年度検証結果（R4 地方創生関係事業）」を御参照願います。

事業③	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」移築及び利活用による新発田駅前エリア活性化プロジェクト				計画期間		令和４年度～令和８年度 (交付金活用事業は令和４年度のみ)				
事業概要	・ 当市出身の実業家「大倉喜八郎」の別邸「蔵春閣」が当市に移築されたことを契機に、「動態保存」の考え方にに基づき、「ひとの流れ」を創出し、「観光客・来訪者に楽しんでもらえる仕組みをつくる」ため、施設の利活用に必要な附帯施設を整備し、賑わい創出を実現する。 ・ 蔵春閣と敷地内庭園を一体的に活用し、多くの人々が訪れる交流拠点施設とするため、施設の魅力向上、来訪者の利便性向上、バリアフリー対応に必要な整備、外構整備を行うとともに、必要な撤去工事や周辺の植栽、警備設備導入工事を実施する。 ・ 厨房機器やデジタルを活用した幅広い取組の実施に向けた備品類を導入する。										
重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
蔵春閣入込客数	0 人	整備工事のため 実績なし		目	12,000 人	目	16,000 人	目	20,000 人	目	24,000 人
				実	65,737 人	実	－	実	－	実	－
駅前エリア来訪者数	3,250 人	目	5,000 人	目	7,000 人	目	8,000 人	目	9,000 人	目	10,000 人
		実	4,927 人	実	65,737 人	実	－	実	－	実	－
蔵春閣を活用した民間主体 の事業実施数	0 件	整備工事のため 実績なし		目	20 件	目	30 件	目	40 件	目	50 件
				実	59 件	実	－	実	－	実	－

※交付金活用事業に関する外部評価については「R5 年度検証結果（R4 地方創生関係事業）」を御参照願います。

デジタル実装タイプ（TYPE1）

事業①	行政手続のオンライン化による住民サービスの向上事業	計画期間	令和 5 年度
実施地域	村上市・胎内市・新発田市・阿賀野市・加茂市・三条市・魚沼市・上越市・妙高市・佐渡市・阿賀町・湯沢町の 10 市 2 町による広域連携事業（主たる申請者は阿賀町）		
事業概要	住民や事業者の行政手続に係る大幅な利便性の向上、行政側の標準化・効率化を図るため、窓口来庁又は郵送での申請が必要であった行政手続について、申請手続や手数料等の支払いから行政内部の事務処理まで一貫してオンラインで処理できる仕組みを整備する。		
実施概要 （実績）	令和 5 年度整備内容		
	○電子申請共同利用システム導入（10 月 1 日運用開始） ○LINE 連携機能追加（2 月 1 日連携開始）		

重要業績評価指標 KPI（数値目標）		R5 年度	R6 年度	R7 年度
住民、事業者から電子申請・予約が行われた割合（各市町の達成状況）	目標値	30%	50%	70%
	実績値	29.4%	－	－
手数料等支払時に電子収納が利用された割合（各市町の達成状況）	目標値	未設定	40%	60%
	実績値	未計測	－	－
LINE を経由して電子申請・予約がされた割合（各市町の達成状況）	目標値	10%	20%	30%
	実績値	0%	－	－
住民・事業者の利用満足度（各市町の達成状況）	目標値	3 ポイント	3.5 ポイント	4 ポイント
	実績値	未計測	－	－
共同調達による削減費用（12 市町合計）	目標値	12,513,600 円	25,027,200 円	25,027,200 円
	実績値	12,513,600 円	－	－
共同でシステムを導入したことによる、手続ページ作成等業務削減時間（12 市町合計）	目標値	10,000 時間	15,000 時間	20,000 時間
	実績値	10,400 時間	－	－
システムの共同利用により削減された事業者・市民の操作方法習得に要する時間（12 市町合計）	目標値	10,000 時間	15,000 時間	20,000 時間
	実績値	4,853 時間	－	－

※「数値目標」、「目標値」は広域連携で事業に参画する 12 市町で共通となっています。

事業費	R5 年度
計画額	858,000 円
実績額	857,137 円
交付金充当額（1/2）	428,568 円

※本交付金はデジタル実装に係る交付金のため、単年度補助となります。

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

※寄附実績については、市ホームページにて公表の同意を得ている企業情報を掲載していますので、そちらをご覧ください。

事業①	大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト		計画期間	令和 2 年度～令和 6 年度
事業概要	明治 45 年、当市出身の実業家・大倉喜八郎が向島隅田川沿いに建設した別邸の一部『蔵春閣』が（公財）大倉文化財団から移築・復元を含め、新発田市に寄附されることとなった。大倉スピリッツ「進一層」の精神に基づき、『蔵春閣』という新たな市のシンボルを宝にして、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を図ることにより、地方創生を加速させる。			
実施概要 <				

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度	
駅前エリア来訪者数（※）	2,000 人	目	3,000 人	目	5,000 人	目	7,000 人	目	8,000 人	目	9,000 人
		実	3,250 人	実	4,510 人	実	4,927 人	実	65,737 人	実	—
観光入込客数	265 万人	目	265.5 万人	目	266 万人	目	267 万人	目	268 万人	目	268 万人
		実	120 万人	実	124.1 万人	実	183.4 万人	実	202.6 万人	実	—

※本プロジェクトに関連した来訪者数に限る。

事業費	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	合計
寄附受領額	11,700,000 円	300,000 円	0 円	500,000 円	円	12,500,000 円
計画額	641,000 円	3,613,000 円	4,000,000 円	1,650,000 円	2,744,000 円	12,648,000 円
実績額	640,860 円	3,612,400 円	3,993,000 円	1,650,000 円	円	9,896,260 円
寄附金充当額	640,860 円	3,612,400 円	3,993,000 円	1,650,000 円	円	9,896,250 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業②	「公共交通」×「起業・創業支援」×「まちの顔づくり事業」で繋ぐ新発田市地域活性化プロジェクト		担当課	令和 2 年度～令和 6 年度
事業概要	①「公共交通の充実」（買い物困難者を支える公共交通手段の整備・充実、利便性の高い待合所などの整備、地域の実情に応じた公共交通ルートの整備）、②「起業・創業支援の充実」（各種支援制度の充実、空きビル・空き店舗対策、キッチンカー・移動販売など新たな創業分野への展開）、③「中心商店街周辺のにぎわい・活性化」（遊休地などの利活用、居心地の良い空間・環境整備、まちづくりを推進する統一ロゴマーク作成などによるまちの魅力度向上）の 3 事業を柱とした地域活性化プロジェクト			
実施概要 (実績)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	
	○公共交通の充実（6,973 千円） 市街地循環バスの停留所に待合所やベンチを整備 ○起業・創業支援の充実（3,000 千円） 創業支援制度の拡充 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（2,500 千円） 中心市街地活性化に向けた調査研究	○起業・創業支援の充実（4,500 千円） 移動販売事業を含む新規創業支援 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（1,000 千円） 中心市街地の賑わい創出等に向けたエリアマネジメント研究	○公共交通の充実（8,911 千円） 市街地循環バスの車両更新や音声案内の追加 ○起業・創業支援の充実（3,429 千円） 新規創業支援事業 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（5,000 千円） 民間主体の空き店舗リノベーションや情報発信の支援、中心市街地の賑わい創出に向けた調査研究、民間主導によるまちづくりを行政が伴走支援できるよう計画を策定	
	R5 年度	R6 年度		
	○公共交通の充実（3,972 千円） ・川東コミュニティバスの車両更新 等 ○起業・創業支援の充実（5,019 千円） ・新規起業支援 等 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（15,109 千円） ・「水のみち構想」の一環として、新発田川親水広場の整備 等	—		

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度	
あやめバスの年間利用者数	77,850 人	目	78,100 人	目	78,350 人	目	78,600 人	目	78,850 人	目	79,150 人
		実	63,905 人	実	64,969 人	実	67,068 人	実	71,111 人	実	—
民間主体のイベント実施割合	79.0%	目	80.0%	目	81.0%	目	82.0%	目	83.0%	目	84.0%
		実	72.0%	実	23.0%	実	58.0%	実	83.3%	実	—

事業費	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	合計
寄附受領額	20,500,000 円	20,200,000 円	20,100,000 円	24,100,000 円	円	84,900,000 円
計画額	12,500,000 円	5,500,000 円	19,411,000 円	24,100,000 円	10,000,000 円	71,511,000 円
実績額	12,473,000 円	5,500,000 円	17,339,409 円	24,100,000 円	円	59,412,409 円
寄附金充当額	12,473,000 円	5,500,000 円	17,339,409 円	24,100,000 円	円	59,412,409 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。